

《Common question. Can I take this while I'm taking this? : よくある質問。これを飲んでいる間これを摂ってもいいですか?》

Shawn : ビル・マナカリー博士とジョン・ホール博士と一緒に、とてもたくさん受ける質問について話していきましょう。治療中にサプリメントを摂ってもいいのかという質問を何度も受けます。ここにいる二人の博士が例を挙げながら説明していきます。きっと良くなるので期待してください。このビデオでは、どのような治療を受けているのであれ、よい栄養が実際にどのような効果をもたらすかについて説明します。ここでは1つの例を挙げますが、どんな治療にも当てはまるでしょう。よい栄養はどのように機能するのでしょうか。



Dr. Bill : 私はいつもこのような質問を受けます。何かの治療を受けている人が、私の飲んでいる薬と一緒にこのサプリメントを飲んでもいいですか?と。だから私はいつも聞くんです。医者には食事をとってはいけませんと言いましたか?と。(答えは) いいえ。私たちの製品は食べ物です。これは抗酸化剤ではありません。化学療法で問題になるのは、フリーラジカルががん細胞を殺すので、強力な抗酸化剤を摂取すると、がん細胞を死滅させようとするフリーラジカルを消してしまうからです。でも私たちの製品は食べ物です。患者には食べ物が必要です。多くのがん患者さんは食べる気がなくて食べられず、諦めて死んでいくんです。私たちの製品をとれば食べ続けることができます。私たちが持っている食品成分すべてが、化学療法が効きやすくなり、投薬回数が減り、効果がより良くなるという結果が出ています。

Dr. Hall : つまり、化学療法の量を減らせるので副作用が少なく、より良い結果が得られるということです。これはすべてにおいてプラスです。何十年もの間、ビルと私はそれを何度も何度も目にしてきました。

Dr. Bill : 科学者たちはアポトーシス経路を活性化する化学療法を開発しようとしています。食べ物はすでにやっているんです。何度も化学療法が効かないのは、その経路が存在しないからで、適切な食べ物を摂取すれば、その経路が機能するようになり、化学療法が効くようになるんです。今後、私たちはそのような効果をたくさん示せるはずですよ。

Dr. Hall : 体が体のできるように動いて欲しいんです。論文に書いてあるように、アポトーシスがうまく機能すれば、がん治療もよりうまくいくんです。もちろんその通りで、体は出来る限りよく働くべきなんです。化学療法と食べ物と一緒に食べれば、本当に仕事ができます。つまり、私たちの製品はその辺にある対処療法ではないんです。

Shawn：一度指を切ったことがあったんだけど、元に戻してくれるものがあったよ。

Dr. Hall：問題なのは、対処療法にはネガティブな慢性病があるということです。私はいつも慢性的な状態はうまくいっていない状態の代名詞だと言っています。慢性的な状態だと物事はうまく働きません。化学療法は急性疾患に対しては有効です。私たちは化学療法に否定的なわけではありません。しかし私たちが見てきたのは、標準療法を受けている人でも栄養素を加えることはできるということです。がんでいっぱいになった肝臓のCAT スキャンを見たことがあります。1年後にはきれいになっていました。栄養素を加えた後のことです。その結果、副作用が少なくなり、より良くなりました。でも彼らはまだ標準治療を続けています。私たちは臨床医学をやっているわけではありませんので、誰かにああするな、こうするなとは言いません。しかし、何度も言っているように、病気であろうとなかろうと、もし病気であるなら特に栄養状態を改善することはいいことです。FDAはこれについて何も言いません。薬剤のプランではありませんから。栄養状態を改善することは、病気であろうと健康であろうとやるべきことです。特に病気の場合、治療に対する体の反応を良くするだけでなく、健康になるために必要なことをするのを助けるだけなんです。いずれにせよ、栄養を摂るとするのは自然なことであって、違いをもたらすように働いてくれるんです。

Dr. Bill：体はいろいろなことを実行できます。ひとつひとつの細胞にはすべての経路が備わっていて、必要に応じて炎症を強めたり、抑えたり、強くも弱くも調節することができます。栄養はすべての経路を調節することができます。ある食べ物を食べると、この経路が活性化され、その食べ物に含まれる栄養素がその経路で働いて細胞を修復するんです。同時によい経路をすべてオンにすることはありません。細胞は何をすべきかわからなくなるので、その食べ物を使う必要がある経路をオンにします。さまざまな食べ物を食べることで、最終的には全ての経路を調整します。その経路をオンにして、食べ物を使って自分で修復することで細胞を健康に保つことができるんです。食べ物はそうやって機能するようにできているんです。でも、私たちは食べ物が早く成長するように改良してきています。

Dr. Hall：それはまた別の問題ですね。

Dr. Bill：いつかその話もするつもりですが、細胞の経路のどれかをオンすることができれば、その経路を利用した薬は効くようになります。活性化されなければ、その薬は効きません。

Dr. Hall：問題を起こすだけです。それが毒性とか副作用と呼ばれるものです。

Shawn：つまり、すべてが一緒になって働くのがいいのであって、その方がずっとうまくいくんですね。ひとつの経路だけをオンにするのは問題があるんですね。前にエンジンのインジェクターがひとつのシリンダーに留まってしまってピストンを溶かしてしまったことがあるんですが、これは

単なる一例ですけど、ここには確かな技術があります。必要な時に必要なことをしなければなりませんね。

Dr. Hall：いずれにしても食べ物は良いものですから、どんな治療をしても、よい食事、よい栄養素は加えるべきです。

Dr. Bill：面白いことに、聖書には、牛に与える穀物はすべてオーツ麦だと書いてありますが、穀物を与えるのではなく、穀物が草などになってそれを牛が食べるんです。ところが、草を育てるための種を手に入れるのが非常に効率的になったので、草を育てる代わりに種を与えるようになったんです。牛が種を食べられるなら、私たちが食べられるかもしれないと考えて、たくさんの種を食べるようになりました。そして私たちは、種を作る方法を本来の方法から変えてしまいました。神の作り方から変えるたびに、結局はそのままにしておくべきだったと気づくことになるんです。

Shawn：本当に、その通り。皆さん、参加してくれてありがとうございます。お役に立ったでしょうか。勉強になったなら、そして、物事やその仕組みについての見識を深めていただけたなら幸いです。あなたが人生を通して決断を下すとき、いつでも困難に直面したときの助けになればと願っています。

この資料を提供するにあたって

動画の内容を理解するため、個人的に翻訳したものです。

誤訳等があっても責任は負いかねます。 作成 堺晶子